

【指導分野】

産業振興・工業立地

まの ひろたか

【氏名】 真野 博司

【現職】

(株)産業立地研究所
代表取締役



【略歴】

(財)日本立地センター調査員、参与を経て、昭和45年に(株)産業立地研究所を設立し現職に至る。産業立地、産業振興、地域開発の分野で活躍。大規模工業基地構想、テクノポリス構想・計画、頭脳立地計画、オフィスアルカディア計画、産業クラスター計画等の調査研究に従事。国土審議会専門委員、産業構造審議会臨時委員、中小企業近代化審議会専門委員等を勤めた。

平成6年11月水源地域対策アドバイザーに就任。

【これまでの派遣先】

平成7年度 福井県武生市(吉野瀬川ダム)

平成8年度 北海道夕張市(夕張スーパーダム)

平成10年度 埼玉県両神村(小森川ダム)

平成19年度 愛知県設楽町(設楽ダム)※

※生活再建指導員相談事業の講師として派遣

【他の役職・就任歴等】

国土審議会、産業構造審議会、中小企業近代化審議会、工業立地及び工業用水審議会の専門委員や国、自治体の委員会委員、独ブレーメン州経済振興公社駐日代表部顧問などを歴任。

【自己紹介】

全国の大中小の地域活性化に係わる多くの調査、研究、政策提案をしてきた。地域活性化を促進するために重要なことは地域に埋もれている産業資源を発掘、評価し、それをビジネスにするための創造・製造・商造システムを構築することである。この時、小さくとも、きらりと光る事業を幾つか集積させ、クラスターを形成し、相乗効果を図る方向を目指すべきである。また、地域においてキーパーソンの発掘や育成を図ることが大事である。現在、地域産業おこしに燃える人選定委員を勤め、人材の発掘に当たっている。